



## 「ぼうさいこくたい2024 in 熊本」において、 「新総合防災情報システム(SOBO-WEB)アイデアソン2024」 を開催しました。



- 本年4月に運用を開始した「新総合防災情報システム」(SOBO-WEB)は、災害対応各機関がバラバラに保有していた災害情報を一元的に収集・集約し、地図上に重ね合わせて表示することで、災害対応業務を大幅に高度化、効率化するシステムです。
- 「新総合防災情報システム(SOBO-WEB)アイデアソン2024」では、様々なデータをどのように掛け合わせれば、各機関の災害対応に役立つのか、システムを効果的に利活用していくためのアイデアを募集し、計42件の御応募をいただきました。その中から一次審査を通過した6チームの皆様にご発表いただき、防災担当大臣賞の受賞者を決定しました。



### 【冒頭挨拶】内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官 (防災デジタル・物資支援担当) 松本 真太郎

令和6年能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報を受け、政府としても防災対策が第一の重要事項となっています。このアイデアソンを通じて、SOBO-WEBの実用化を目指すとともに、SOBO-WEBの存在が広く国民へ浸透することを期待しています。

# 新総合防災情報システム(SOBO-WEB) アイデアソン2024 <発表6チーム>

各チームから5分間の熱意溢れる発表が行われました。  
一般の参加者も含め、みな真剣な表情で聞き入っていました。

AZ-COM  
CNET

一般社団法人AZ-COM  
丸和・支援ネットワーク チーム桃太郎

「拠点位置関係と被害の可視化による拠点選定や輸送手配の効率化」

千葉市 総合政策局 危機管理監  
全国防災関係人口ミートアップ及びびよんな防災会  
相楽 俊洋

「停電情報とクールシェア施設の重ね合わせ」

SoftBank

ソフトバンク株式会社 総務本部 総務企画統括部  
リスク対策部 リスク渉外課 間宮 優、小森 國隆

「円滑な避難所支援の実現へ  
by SOBO-WEB」

東北電力  
・東北電力株式会社 研究開発センター 鈴木 賢一・通研電気  
工業株式会社 ソリューション推進事業部 ソリューション技術G  
金子 裕一、菊地 沙紀、小川 和訓、小田川 祐太・IQGeo Japan  
株式会社 後藤 葉、林 文博・株式会社データインサイト 山元 隆

「非居住者の被災情報を可視化し適切な支援を実施」

東京ガスネットワーク 東京電力パワーグリッド  
NEXCO

3社合同チーム(東京ガスネットワーク株式会社、  
東京電力パワーグリッド株式会社、東日本電信電話株式会社)

「官民の連携による  
復旧活動の早期化」

NEXCO  
東日本高速道路株式会社 新潟支社 道路事業部  
寺田 悠紀、岡本 学、小林 広幸

「高速道路の災害時リスク  
コミュニケーションの最適化」



一般社団法人AZ-COM  
丸和・支援ネットワーク チーム桃太郎

「拠点位置関係と被害の可視化による拠点選定や輸送手配の効率化」



【発表内容】

阪神淡路大震災や東日本大震災での支援経験を基に、災害時の物資支援の効率化について提案します。物流拠点や代替拠点、備蓄物資等の情報共有を通じて、リアルタイムでの状況把握や効率的な物資輸送を目指します。SOBO-WEBを活用し、各拠点の情報を可視化することで、迅速かつ効果的な支援が可能になると確信しています。今後も積極的に被災地支援に取り組む意向です。



審査員講評 内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官  
(防災デジタル・物資支援担当) 松本 真太郎

物資拠点の情報をどう繋げていくかは、内閣府の物資支援担当としても課題と考えていたところでしたので、現場の声として具体的な項目まで含めてご提案いただき、非常に参考になりました。

審査員講評 静岡大学 防災総合センター 特任教授  
岩田 孝仁 氏

物資拠点の情報は非常に重要で、トラックが本当にそこに入れるのか、入口の情報、フォークリフトの有無など、実際に展開するための情報をきちんと事前に掌握するという意味では、非常にありがたい提案だと思いました。



ソフトバンク株式会社 総務本部 総務企画統括部  
リスク対策部 リスク渉外課 間宮 優、小森 國隆

## 「円滑な避難所支援の実現へ by SOBO-WEB」



### 【発表内容】

避難所支援を3つのフェーズに分けて提案します。まず、ライフラインの確認と避難所の開設状況を総合Webで把握します。次に、人口密集データを活用して避難者の分散誘導を行い、最後に交通状況を基に物資と燃料の効率的な輸送を提案します。さらに、ChatGPTと連携して、迅速な情報提供を目指します。

審査員講評 防災科学技術研究所 社会防災研究領域  
総合防災情報センター長 臼田 裕一郎 氏

ご提案いただいた情報について、例えばソフトバンクさんであれば、通信途絶を人が多いところから優先して復旧する、という使い方もあると思います。ぜひ期待したいと思います。



審査員講評 大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター長・教授 鶴成 悦久 氏

人流データについては、今後どのように活用し、実際に運用していくかということが、非常に有効的な情報になっております。そういった点も含め、非常に有効的なご提案と思いました。

## 3社合同チーム(東京ガスネットワーク株式会社、 東京電力パワーグリッド株式会社、東日本電信電話株式会社)

# 「官民の連携による 復旧活動の早期化」



### 【発表内容】

災害対応の効率化を目指し、2020年に3社で連携協定を結びました。データ共有とシステム統合により、被災状況や復旧情報の可視化を進め、自治体との連携を強化しています。被害の状況を色分けして示す等、迅速な対応を目指します。



### 審査員講評 防災科学技術研究所 社会防災研究領域 災害過程研究部門 特別研究員 宇田川 真之 氏

能登半島地震や熊本豪雨では多くの孤立エリアが発生しました。孤立エリアのどこを優先してライフラインを復旧していくのか、自治体と複数事業者が共同で方針を考えるために情報を共有する、SOBO-WEBらしい活用方法と思いました。

### 審査員講評 大分大学 減災・復興デザイン教育研究 センター長・教授 鶴成 悦久 氏

ご提案いただいた3つの情報は非常に重要ですが、中々手に入らないものでもあります。災害時だけではなく、通常時にも、こうした連携が上手くいくと、災害時に自治体が非常に有効的な形で使えるのではないかと思います。





千葉市 総合政策局 危機管理監

全国防災関係人口ミートアップ及びよんなな防災会

相楽 俊洋

# 「停電情報とクールシェア施設の重ね合わせ」

停電情報とクールシェア施設の重ね合わせ 千葉開府 since 1126 Road to 900

各電力会社から停電情報は発表される。

停電時には熱中症の危険性が高まる。

停電エリアとクールシェア施設の情報  
を地図に表示し、利用可能なクール  
シェア施設を市民に周知することで停  
電時の熱中症予防を図る。

## 【発表内容】(※事前収録による発表)

熊本地震や台風の被災経験を基に、停電時の熱中症対策を提案します。停電時には、自治体が市民に対してリアルタイムで情報を提供する必要があります。特に、クーラーを利用できる避難所や施設の情報を迅速に発信することで、熱中症のリスクを軽減できると考えます。また、災害時にスマートフォンの充電が可能な施設の情報も重要となります。

審査員講評 静岡大学 防災総合センター 特任教授  
岩田 孝仁 氏

今年度から「熱中症特別警戒アラート」が始まるなど、熱中症対策は暑い時期の災害において非常に深刻な問題です。だからこそ、こうしたシステムを使って、新たな視点で、様々な形での情報提供をぜひ実現していただければと思います。



審査員講評 防災科学技術研究所 社会防災研究領域  
総合防災情報センター長 臼田 裕一郎 氏

停電時にも使えるクールシェア施設を事前に準備しておく、という意味では、平時の提案でもあると思います。そこでの通信も確保していけば、平時の施設のレジリエンスが高まるという意味でも、非常に重要な提案ではないかと思えます。



・東北電力株式会社 研究開発センター 鈴木 賢一・通研電気工業株式会社 ソリューション推進事業部 ソリューション技術G 金子 裕一、菊地 沙紀、小川 和訓、小田川 祐太・IQGeo Japan 株式会社 後藤 紫、林 文博・株式会社データインサイト 山元 陸

## 「非居住者の被災情報を可視化し適切な支援を実施」



### 【発表内容】

非居住者の被災情報の可視化について提案します。合同チームとして連携して研究を進める中、能登半島地震での帰省者や訪日観光客の増加に着目し、被災者の基本情報や位置情報を統合するWebプラットフォームが重要であると考えます。個人情報保護の課題もあり、企業や国の関係機関の協力も必要と考えます。



### 審査員講評 大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター長・教授 鶴成 悦久 氏

外国人観光客が非常に増加する中、災害時にどう人数把握等を行うかは非常に大きな課題です。そういった把握のために、どのようにプライバシーの問題、個人情報保護の問題を解決できるか等、総合的にご提案いただき有り難うございました。

### 審査員講評 内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(防災デジタル・物資支援担当) 松本 真太郎

来年には大阪万博もありますので、参加者の安否等も含め、個人情報などをどう扱うかという非常に大きな課題かつ乗り越えねばならない課題に、どう対応していくのか、問題提起として非常に重要なアイデアだと思いました。





東日本高速道路株式会社 新潟支社 道路事業部  
寺田 悠紀、岡本 学、小林 広幸

## 「高速道路の災害時リスク コミュニケーションの最適化」



### 【発表内容】

4年前の新潟県関越道での大規模車両滞留を踏まえた提案です。過去最高の降雪により、約2,100台が最大50時間滞留し、情報提供の不足が指摘されました。LINE公式アカウントでの情報提供強化や、他機関との情報統合、気象予測データの活用を提案します。その上で、情報提供の効率化とパーソナライズを目指します。



審査員講評 防災科学技術研究所 社会防災研究領域  
災害過程研究部門 特別研究員 宇田川 真之 氏

降雪や降雨などの際、道路利用者に、道路ネットワーク全体の状況を伝えることが道路防災では大切です。国や県、高速道路会社など複数の道路管理者の間で情報を共有できるSOBO-WEBの活用方法として、新しいアイデアだと思いました。

審査員講評 静岡大学 防災総合センター 特任教授  
岩田 孝仁 氏

ただ単に情報を提供するのではなく、利用者に行動変容を起こさせるためには、どのような情報提供が必要か、という観点でのご提案だったと思います。利用者それぞれの行動変容を狙える重要なアイデアだなと思います。





## 最優秀賞

3社合同チーム(東京ガスネットワーク株式会社、  
東京電力パワーグリッド株式会社、東日本電信電話株式会社)  
「官民の連携による復旧活動の早期化」



## 優秀賞

一般社団法人 AZ-COM丸和・支援ネットワーク チーム桃太郎  
「拠点位置関係と被害の可視化による拠点選定や輸送手配の効率化」





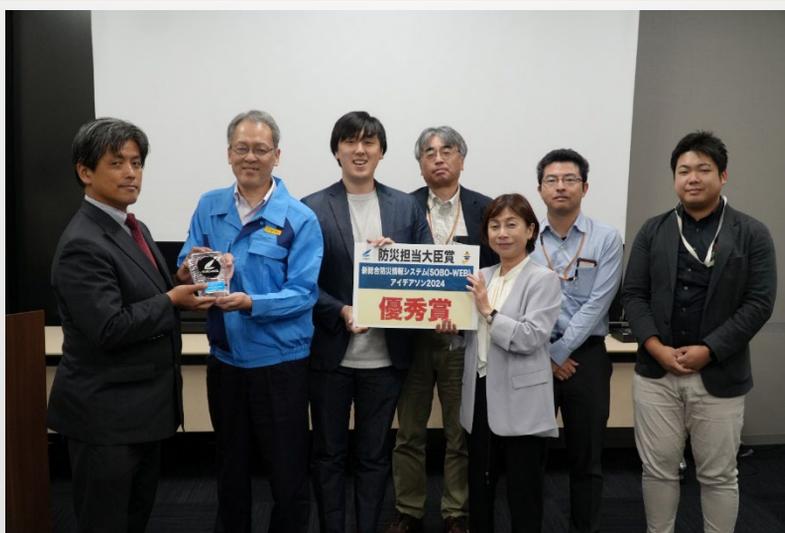
## 優秀賞

東日本高速道路株式会社 新潟支社 道路事業部  
寺田 悠紀、岡本 学、小林 広幸  
「**高速道路の災害時リスクコミュニケーションの最適化**」



## 優秀賞

東北電力株式会社 研究開発センター 鈴木 賢一  
・通研電気工業株式会社 ソリューション推進事業部 ソリューション技  
術G 金子 裕一、菊地 沙紀、小川 和訓、小田川 祐太  
・IQGeo Japan株式会社 後藤 紫、林 丈博  
・株式会社データインサイト 山元 陸  
「**非居住者の被災情報を可視化し適切な支援を実施**」



# 新総合防災情報システム(SOBO-WEB) アイデアソン2024

## ■開催概要

名称	「新総合防災情報システム(SOBO-WEB)アイデアソン2024」
日時	2024年10月20日(日)10:00~12:30
場所	熊本城ホール 会議室D1
主催	内閣府(防災デジタル・物資支援担当)
最優秀賞	3社合同チーム(東京ガスネットワーク株式会社、東京電力パワーグリッド株式会社、東日本電信電話株式会社)
優秀賞	一般社団法人AZ-COM丸和・支援ネットワーク チーム桃太郎
優秀賞	東日本高速道路株式会社 新潟支社 道路事業部 寺田 悠紀、岡本 学、小林 広幸
優秀賞	東北電力株式会社 研究開発センター 鈴木 賢一 通研電気工業株式会社 ソリューション推進事業部 ソリューション技術G 金子 裕一、菊地 沙紀、小川 和訓、小田川 祐太 IQGeo Japan株式会社 後藤 紫、林 丈博 株式会社データインサイト 山元 陸
参加記念	ソフトバンク株式会社 総務本部 総務企画統括部 リスク対策部 リスク渉外課 間宮 優、小森 國隆
参加記念	千葉県 総合政策局 危機管理監 相楽 俊洋 全国防災関係人口ミートアップ及びよんなな防災会
審査員	松本 真太郎 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(防災デジタル・物資支援担当) 臼田 裕一郎 防災科学技術研究所 社会防災研究領域 総合防災情報センター長 宇田川 真之 防災科学技術研究所 社会防災研究領域 災害過程研究部門 特別研究員 鶴成 悦久 大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター長・教授 岩田 孝仁 静岡大学 防災総合センター 特任教授

